

エコアクション21 環境経営レポート 2023年版

(2023年1月～2023年12月)

発行日：2024年04月19日

デンソー工業株式会社富山工場
〒939-0311 富山県射水市黒河新4936
TEL0766(56)3639 FAX0766(56)6599

管理番号 F-06-008

承認	作成
	

(1)組織の概要

1 名称及び代表者氏名

デンソー工業株式会社

代表取締役社長 麻生 智彦

2 所在地

本社	神奈川県横浜市港北区新横浜2-12-9	ISO14001認証取得(2002/5/15～)	TUV認証
宮城工場	宮城県栗原市一迫柳目字天王下56	ISO14001認証取得(2003/9/2～)	PRJ認証
富山工場	富山県射水市黒河新4936	ISO90001認証取得(2005/6/1～)	TUV認証
横浜ロジセンター	神奈川県横浜市栄区田谷町520		

3 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先

環境管理責任者 今井 秀和

担当者 朽木 百合子

連絡先 TEL 0766(56)3639

FAX 0766(56)6599

4 事業内容

電気部品製造(ワイヤーハーネス加工)

上記に付帯する事業一般

5 事業の規模(2023年12月時点)

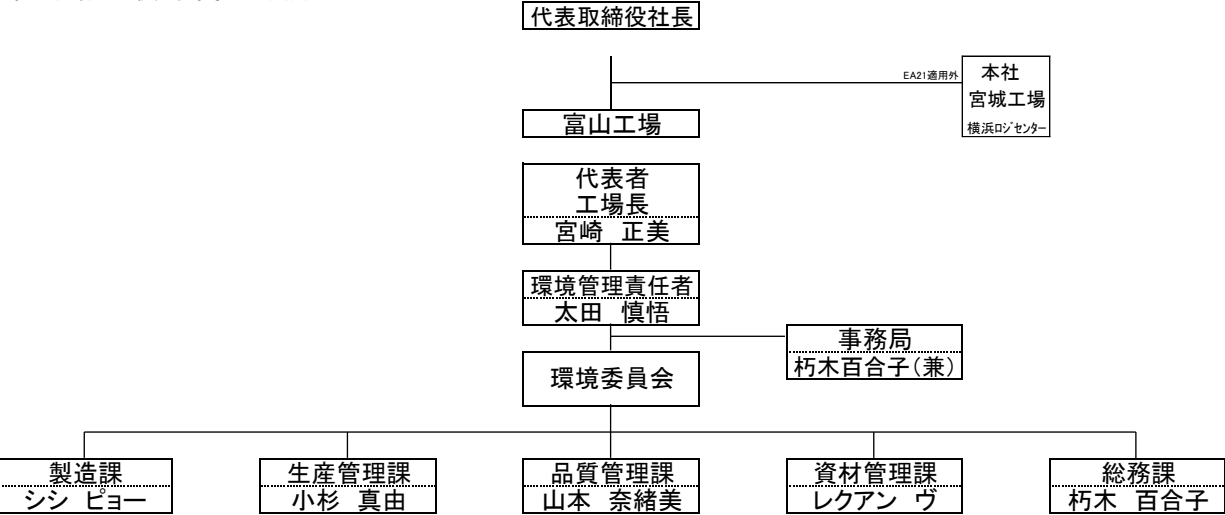
	富山工場(射水倉庫含む)	本社	宮城工場	横浜ロジセンター
従業員	49	36	64	14
延べ床面積(m ²)	175,576.18	2143.68	1022.01	317.99

6 事業年度

1月～12月

(2)対象範囲

登録組織名 デンソー工業株式会社富山工場



	役割・責任・権限
代表者	・環境管理責任者を任命 ・環境経営に関する統括責任 ・環境経営システムの実施に必要な人、設備、費用、時間、技能、技術者を準備 ・環境経営方針の策定・見直し及び全従業員へ周知 ・環境経営目標・環境経営計画書を承認 ・全体の評価と見直しを実施 ・環境活動レポートの承認
環境管理責任者	・環境経営システムの構築、実施、管理、 ・環境関連法規等の取りまとめ票を承認 ・環境経営目標・環境経営計画書を確認 ・環境経営活動の取組結果を代表者へ報告 ・環境経営活動レポートの確認
環境事務局	・環境管理責任者の補佐、EA21推進委員会の事務局 ・環境負荷の自己チェック及び環境への取り組みの自己チェックの実施 ・環境経営目標、環境経営計画書原案の作成 ・環境経営活動の実績集計 ・環境関連法規等取りまとめ表の作成 ・環境関連法規等取りまとめ表に基づく遵守評価の実施 ・環境関連の外部コミュニケーションの窓口 ・環境経営レポートの作成、公開(事務所に備付けと地域事務局への送付)
委員	・自部門における環境経営システムの実施 ・自部門における環境経営方針の周知 ・自部門の従業員に対する教育訓練の実施 ・自部門に関連する環境経営計画の実施及び達成状況の報告 ・特定された項目の手順書作成及び運用管理 ・自部門の特定された緊急事態への対応のための手順書作成 ・テスト、訓練を実施、記録の作成 ・自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施
全従業員	・環境経営方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚 ・決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加

管理番号 F-06-005 作成日 2017/12/1

承認	作成
デンソー 2023/24/24 太田	デンソー 2023/24/24 朽木

環境経営方針

環境理念

デンソー工業株式会社富山工場は、地球の未来に負の遺産を残さず、地球を健全な状態で次世代に引き継ぐ事が、我々企業市民の使命である事を認識し、全ての事業活動を通じ地球環境の保全と向上に努める。

方針

デンソー工業株式会社富山工場は、電子部品（ハーネス）の製造、組立を軸とする日々の事業活動の中で

『地球に優しい企業活動を目指して！』

をスローガンに、身近な社内の環境改善をはじめ、製品のグリーン化を進め、それらの活動を注視する等、広範囲な環境保全に努めるために下記活動方針を定め積極的に活動を推進する。

1. 当社の事業活動、製品及びサービスによる環境への影響を常に認識し、技術的・経済的に可能な範囲で環境汚染の予防と環境保全活動を推進すると共に、環境管理システムの一層の継続的改善を図る。
2. 当社の事業活動に関わる環境関連の法律、自治体などの条例、及び業界の取決めなどの組織が受け入れを決めたその他の要求事項を遵守すると共に自主基準を設け、技術的・経済的に可能な範囲で継続的改善を推進する。
3. この環境方針の達成のために、下記の目的・目標を設定し、定期的に見直しを行い、当社内の委託事業者を含む全部門・全従業員を上げて、環境改善を推進する。
 - ① 二酸化炭素排出量削減
 - ② 廃棄物排出量削減
 - ③ 水使用量削減
 - ④ 化学物質使用量削減
 - ⑤ A4紙印刷削減
 - ⑥ 品質改善
4. 環境改善活動を推進するために環境教育・訓練を実施し、環境方針の理解と環境保全に対する意識向上に努め、具体的な施策を明確にし取り組む。

2023/04/28

デンソー工業株式会社富山工場

工場長

宮崎 正美

——— この環境方針は社内外に公表する ———

(4)環境経営目標

2 環境目標(中期)及びその実績

目的	対象	実施事項	単位	排出係数	2022年実績	目 標			2023年1月～12月	
						2023年	2024年	2025年	目標	実績
二酸化炭素 排出量削減	電気 (日本77+排出係数 0.447・2017年で算出)	デマンド管理装置の活用	kWh		117,911	1%以下削減	1%以下削減	1%以下削減	116,732	85,475
		電気製品の不稼働化と効率利用				116,732	115,565	114,409		
	ガソリン	エココンの定期点検	kg-co2	0.447	52,706	52,179	51,658	51,141	52,179	38,207
		車両日曜に基づく車使用の監視				1%以下削減	1%以下削減	1%以下削減		
			L		2,726	2,699	2,672	2,646	2,699	2,577
		低燃費車両の導入と電気の活用	kg-co2	2.32	6,325	6,262	6,200	6,138	6,262	5,980
廃棄物 排出量削減	電気・ガソリンの二酸化炭素排出量小計		kg-co2		59,032	58,441	57,857	57,278	58,441	44,187
	電気・ガソリン及び灯油・ガスの二酸化炭素排出量合計		kg-co2							54,806
	産業廃棄物	廃棄物の分別によるリサイクル化活動の維持管理	kg	1755	2,540	1%削減 2,515以下	1%削減 2,489以下	1%削減 2,465以下	2,515	1,550
	一般廃棄物	産業廃棄物管理課の管理								
		廃棄物の分別によるリサイクル化活動の維持管理	kg	1,875	3,213	1%削減 3,181以下	1%削減 3,149以下	1%削減 3,118以下	3,181	1,785
		廃棄物排出量の記録管理による意識啓蒙								
水使用量削減	上水	記録取りによる監視	m ³	235	353	1%削減 349.5以下	1%削減 346.0以下	1%削減 342.5以下	1%削減 349.5以下	354
化学物質 保管量削減	化学物質	記録取りによる監視 購入仕様の検討			適正管理	適正管理	適正管理	適正管理	適正管理	適正管理
コピー用紙印刷枚数削減	A4用紙	各部署の紙使用の実態把握 リンパス設置、デジタル化推進による削減	枚 (使用枚数)		626,477	1%削減 620,212以下	1%削減 614,010以下	1%削減 607,870以下	620,212	301,843
品質改善	資材管理課	切断ミス低減	各部署部門別活動記録を作成する			2022年度実績(61件)半減			30件	43件
	品質管理課	工程/バトリール実加				計画に基づき工程/バトリールの実施			7回/計画表	3回
	製造課	目標洗い出し				品質目標を設定する期間とする			設定中	無し
	生産管理課	出庫ミス低減				顧客の出荷作業手順書作成			36件	18件

定例会実施+切断手順書更新(2023/10月)

活動実績集計表

活動名	具 体 的 施 策	
二酸化炭素排出量削減	電 気	
	デマンド監視装置の活用	計測結果の定期報告
		デマンドの目標設定とアラーム発生時の対応
	電気製品の不稼働化と効率利用	PC、OA機器の省エネ設定の徹底
	エアコンの定期点検	3ヶ月に1回の自主点検の徹底
	ガソリン	
	車両日報に基づく車使用の監視	使用都度の申請の管理
廃棄物排出量削減	低燃費車両の優先的使用	低燃費車両の優先的使用の徹底
	産 業 廃 棄 物	
	廃棄物の分別によるリサイクル化活動の維持管理	リサイクル化の推進
	産業廃棄物管理票の管理	産業廃棄物管理票の管理の徹底
	一 般 廃 棄 物	
	廃棄物の分別によるリサイクル化活動の維持管理	リサイクル化の推進
	廃棄物排出量の記録管理による意識啓蒙	廃棄時の記録取りにより削減意識を啓蒙
水使用量削減	上 水	
	記録取りによる監視	使用量の記録管理による意識啓蒙
化学物質保管量削減	化学物質	
	記録取りによる監視	監視の徹底と管理仕様の確立
コピー用紙印刷枚数削減	A4コピー用紙	
	印刷枚数削減	印刷をしなくていいシステム作り

(7)環境経営目標及び環境経営計画の実績・取組結果とその評価

○×評価

目的	対象	管理単位	2023年度		評価
			目標	実績	
二酸化炭素 排出量削減	電気 (日本テック 排出係数0.447で算出)	kWh	116,732	85,475	LEDへの変更と、労働時間 が減少のため、27%減少。
		kg-co2	52,179	38,207	
	ガソリン	L	2,699	2,577	22年度の11月末から車が5 台に増えたためか、計画値 よりも増えた月が多かつ た。
		kg-co2	6,262	5,980	
二酸化炭素総排 出量	目標値は、電気、ガソリンを合計した もの	kg-co2	58,441	44,187	LEDの効果が大きかった。
	電気、ガソリンに灯油・ガスの結果を合 計した総排出量	kg-co2		54,806	
廃棄物 排出量削減	産業廃棄物	kg	2,515	1,550	受注が少なくなってきたた め入庫するものも多くなぐ ゴミ少なくなった。
	一般廃棄物	kg	3,181	1,785	受注が少なくなってきたた め入庫するものも多くなぐ ゴミ少なくなった。
水使用量削減	上水	m ³	1%削減 349.5 以下	354	トイレの水源を水道水に替 えたため使用量が増えた。
化学物質 使用量削減	化学物質	-	○	○	保管量・使用量とも適正管 理できた。
梱包材環境負荷削減	A4用紙	枚数	620,212	301,843	裏紙の使用やタブレットへ の移行、システム変更で削 減できた。
	品質改善	資材管理課	部門別活動記 録参照	切断ミス低減活動達成	
		品質管理課		工程パトロール未実施	
		製造課		具体的目標決定	
		生産管理課		出庫ミス低減活動達成	

(8)主な環境関連法規などの遵守状況の確認及び評価の結果、並びに違反、訴訟などの有無

環境 監視 対象 項目	該当法規制	法規制要求事項	根拠事象	該当	遵守評価	
					証拠	判定
フ ロ ン ガ ス	フロン排出抑制法	・第一種特定製品の管理者としての機器の設置・点検、漏えい防止の措置等の管理 ・算定漏えい量の報告 ・第一種特定製品の廃棄時等におけるフロン類の回収	・エアコンの自主点検(3ヶ月ごと)	該当	自主点検表	○
産 業 廃 棄 物	廃掃法	・廃棄事業者との契約	業者と契約済。	該当	契約書	○
		・マニフェストの発行及び返却管理	ファイル保管して管理表にて管理している。	該当	マニフェスト	○
		・その年の3月31日以前の1年間において交付した管理票に関する報告書を作成し、毎年6月30日までに知事に提出必要。	・6月に届出済み。	該当	報告書	○
事 業 系 一 般 廃 棄 物	廃掃法	・処分業者との契約	業者と契約済。	該当	契約書	○
	射水市廃棄物の処理及び清掃に関する条例施行規則	・事業系廃棄物の減量及び資源化	業者に委託(契約)。			

主な、環境関連法規制等の遵守状況の評価の結果、環境関連法規制等は遵守されていました。
なお、違反、訴訟等も過去3年間ありませんでした。

(9)代表者による全体の評価と見直し・指示

代表者による評価・見直しの記録			承認	確認	作成
見直し実施者	宮崎 正美				
見直し実施日	2024年 01月 26日				
確認・評価した資料					
文 書		確認	記 録		確認
環境方針		☐	環境への負荷の自己チェック		☐
環境目標		☐	環境への取組の自己チェック		☐
環境活動計画		☐	環境関連法規制等の順守状況確認		☐
環境関連法規等のまとめ		☐	外部からの苦情・情報の記録		☐
実施体制		☐	環境上の緊急事態の訓練記録		☐
緊急事態対応手順		☐	環境目標の達成状況及び環境活動計画の実施状況と記録		☐
環境活動レポート		☐	不適合是正・予防処置報告書		☐
取組状況全体の評価					
システムが有効に運営されているか(要求事項を満足しているか)				☒ 適	不適
取組が適切に行われているか				☒ 適	不適
見直しの必要性					
環境方針	あり	☒ なし	実施体制	あり	☒ なし
環境目標	あり	☒ なし	その他	あり	☒ なし
環境活動計画	あり	☒ なし			
見直しの具体的内容					
☐ 環境経営方針・・・今年度は方針に対する具体的活動目標が盛り込まれたのでどの様な貢献が出来たか					
評価を進めながら実施して欲しい					
☐ 環境経営方針及び環境経営計画と実績					
電気、廃棄物、一般廃棄物及び各種燃料類：本年度は2022年度と比較し生産量が激減した事により					
全体的に数値が下がったデータと成っており、活動の成果が判定しにくいので目標値の					
見直しが必要だと判断する。					
☐ 上水：本年は屋上の貯水槽の利用を止め水道利用する事でデータが上がったと判断します					
目標値を2023年の結果から新たに計画して欲しい					
☐ ペーパーレス化：客先や上司の依頼によって削減が厳しい所も出ておりますが、何の為に紙を使用					
しているかをグループ内で検討し進めて戴きたい					
☐ 環境関連法規・・・環境関連法規を含め社員全員がエコアクション21の勉強を実施すべきであり					
まずは各部門の代表者が率先し環境経営方針他を勉強して欲しい					
☐ コミュニケーション・・・情報共有化：報・連・相を意識した活動は出来て来ているので、人前でも					
意見を言える活動として朝礼にて朝の一言を挑戦して欲しい					
☐ 次回までの方向性・・・過去の活動は直接行動が目標項目に影響が出るようなアクションでは無かった					
本年度からは社員全員が実施すれば成果が見えるような目標（品質改善）を計画した					
活動スタートは4月ではあるが自分たちが活動すればエコアクションに大きな成果に繋がると					
理解できるような活動にして欲しい					